

生産力向上及び 商品企画力の補強を 実現するための 設備導入計画

国内における繊維産業の市場規模は年々減退傾向にあり、受注単価の引き下げや大口案件は海外の生産拠点へと流出。刺繍加工を得意とする当社においても同様に価格競争を強いられる中、お客様に満足していただける魅力ある物づくりを発信し続けるためにも、本事業にて多機能裁断機を導入し、生産性の向上及び、原価削減、自社企画力の補強を図る。



01 取り組みの経緯

当社では業界初となるWEBからの受注決済システムの開発・導入や、刺繍加工に様々な服飾2次加工を組み合わせた「ハイブリッド刺繍」など多様な発想から、他社にはない独自性の高い商品を提供している。オリジナルブランド「せと刺織り」はアパレルやインテリアなど他業界からも高い関心を得た。しかし、業界の市場規模減退やプリント加工の台頭、技術者不足などの問題に阻まれ、事業を安定、かつ、持続的に存続させることが困難となっていた。

02 実施内容

本事業では、顧客への提案力・営業力の強化を目的軸とする生産性の向上・原価削減・企画力の強化を図る。そこで、刺繍機以外の付帯設備『自動裁断機』の導入を検討。自社で持つ既存裁断機では加工が難しかった綿生地や革への加工が可能。また、生地をセットするだけなので人手はかからず、複数枚の縫製生地や厚みのある商材もカットできるため、量産化・生産性の向上となる。効率的な製造ラインとなる位置へ機械を設置し、操作講習を受けた後にテスト加工を実施。

コロナ禍という想定外の状況の中、導入した設備と既存の加工設備を組み合わせ、オリジナルマスクのニーズに対応

03 成果

物理刃を使用した精密な自動裁断が可能のため、生産性はこれまでハサミで裁断していた時の10倍以上。綿の生地や紙類、革などの繊維をパターン化して、効率的にロスなくカットでき、カットパターンは専用ソフトで自由に配置変更可能。いびつな形の生地でも配置位置の調整で無駄なく使い切ることができる。これにより、原価削減も図れ、さらに、顧客からの要望に対して精度の高いサンプルを直接お見せできるため、営業力強化につながった。



「せと刺織り®」美術館本店では、せとうち生まれのリアルな刺繍を直接見て触れる展示販売。

既製品への刺繍加工から刺繍ワッペンまで刺繍に関わる様々な製品を展示。中でも当社独自の加工方法「せと刺織り®」は、刺繍とプリントを組み合わせ、繊細な文字やグラデーションのデザインまでもが光沢感と立体感ある雰囲気、グラフィックから飛び出したようなリアルさ。新たな商品開発の素材としてご使用いただけます。

代表者メッセージ



代表取締役
細川 道隆

今後さらにブランディングの強化を図り、「せと刺織り®」同様に世界への躍進を目指す。

刺繍加工のリーディングカンパニーとして、当社は常に挑戦者の意識を持ち、技術と品質に対する誇りと自信をもった独自の融合技術コンテンツを展開しております。今のご時世、一筋縄ではいかない会社経営ですが、苦勞する分だけより良い物を提供し、お客様を、人を幸せにできる。だからこそ、刺繍技術の向上と伝承を続けて次の世代に繋ぐため、私たちは世界も視野に進化してまいります。

企業情報

所在地	香川県高松市六条町1122-3
TEL	087-868-3600
設立	1988年11月
代表者	細川 道隆
業種	繊維工業
従業員数	31名
事業内容	繊維SP・繊維販促ツールの企画・製作、衣料の刺繍・プリント・転写加工、繊維オリジナルデザイングッズ製作・販売